

なんさい

2025
1
No.344



JA南彩

—— “地域” に寄り添い “未来” に繋ごう ——

新年のごあいさつ

特集1 JA南彩自己改革 令和6年度
上半期の取組み結果について

特集2 べにたまと旬のいちごたち

謹賀新年



JA南彩

検索

URL:<https://www.ja-nansai.or.jp>

ホームページで
広報誌「なんさい」が
見られます。



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

新年のごあいさつ



代表理事組合長 菊池 義雄



常務理事 三角 英夫
管理担当



常務理事 本田 悟
信用・共済担当



常務理事 松岡 昌典
営農・経済担当



代表理事 折原 史年



常勤監事 今井 清志

組合員や地域の皆さまに 寄り添うJAをめざして

謹んで、新春のご祝詞を申し上げます。

組合員並びに地域の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えの心よりお慶び申し上げます。

平素より、JA事業に対し格別なるご理解とご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、世界的な気候変動に伴い異常気象が頻発し、夏の猛暑による高温障害や近年のイネカメムシによる水稻を始めとする農作物の生育に大きな影響を及ぼしました。また燃料や肥料等資材価格の高止まりが続く、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。このような情勢の中、JA独自の助成支援事業の継続や肥料・燃油等の特別価格による提供、さらに農産物の独自販売強化による手取り向上に向けた取組み等を通じ、農業経営の安定化と地域の発展に向け、努めてまいりました。

国においては、食料・農業・農村基本法改正が行われ、農政の大きな転換期を迎え、食料安全保障の強化、再生産に配慮した適正な価格形成の具体化が求められております。

代表理事組合長 菊池 義雄

当JAが重要な課題として取組んでおります支店再編計画においては、昨年3月に完了し、営農経済センターの統合計画も着実に進展しております。組合員・利用者の皆さまにはご協力に対し、感謝と御礼申し上げます。

支店再編により組合員や地域の皆さまとの距離が離れないよう「出向く体制」の取組み強化に努め、地域の皆さまの身近なパートナーとして、日々の営農やくらしのサポートをより一層強化してまいります。

令和七年度から新たな中期三か年計画に基づき、組合員・地域とともに食と農を支える協同の力を発揮し、「地域に寄り添い、未来に繋ごう」を合言葉に、JA南彩が組合員や地域社会にとって欠かせない存在であり続けられ、総合事業を通じて新たな価値を創造してまいりますので本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりまして実り多き素晴らしい一年となりますよう、ご家族の皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

理事

非常勤役員 の紹介

鈴木 兼資	杉崎 博	高橋 孝勝	新井 正一	関根 耕太郎	関根 昭二	齋藤 昭二	久保 昭二	石川 勝也	常川 淳	山本 一	塚本 一	榎本 一	阿部 弘孝	荒井 正	高橋 博	矢部 豊	関部 明彦	渡邊 仁	鈴木 守	木村 守	長谷川 秀之	金子 喜之	桑原 由枝	野原 幸江	岸原 幸子	大澤 幸子	池田 昌司	岸田 昌司	岡村 美行	嶋村 美行
-------	------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

員外監事

矢作 俊信

外職員一同



vol.344

CONTENTS

新年のごあいさつ……………	2	みんなの広場……………	8
表紙の紹介……………	3	特集2 べにたまと旬のいちごたち…	9
「第2回 農産物直売所准組合員モニター」 を開催しました ……………	3	営農情報……………	10・11
カメラニュース……………	4・5	生活情報……………	12・13
特集1 JA南彩自己改革 令和6年度上半期の 取り組み結果について ……………	6・7	お知らせ……………	14・15・16

「第2回 農産物直売所准組合員モニター」を開催しました

【准組合員モニター活動レポート】

視察と対話で探る直売所の魅力と課題



11月21日、菖蒲南支店を会場に10名のモニター員が参加し「菖蒲グリーンセンター」を視察して、意見交換会を実施しました。参加者からは「地元野菜が新鮮で安い」「陳列方法を変えた方が買い物しやすい」



「POP（ポップ）の文字が小さい」など、さまざまな意見があがりました。

意見交換後は、JA南彩の事業紹介を行い、特産物のPRとして「青パイヤのきんぴら」を試食してもらいました。「初めて食べました」「今晚の副食として作ってみよう」「成分など体に良いところをもっとアピールした方がいいと思う」という意見が上がり好評でした。



第3回の活動では、常勤役員との意見交換会を予定しております。



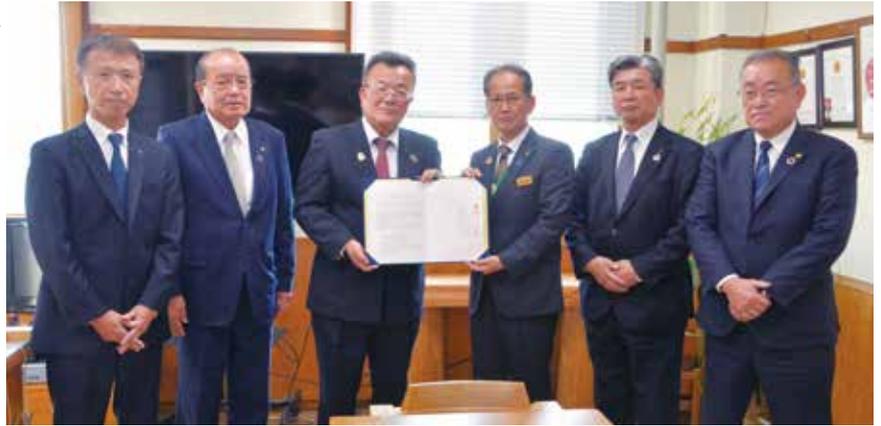


安定的かつ継続的な農業経営のために

12月6日、JA南彩、JAほくさい、JA越谷市、JA埼玉みずほ、JAさいかつ5 JAの組合長が、埼玉県庁を訪問し、水稻生産者に対する支援の要望書を手渡しました。

今年は、猛暑の影響による米の品質低下やイネカメムシの大量発生で「不稔米」「斑点米」が多く、収穫量が大幅に減少したため、埼玉県農業災害対策特別措置条例の特別災害指定と被害を受けた農家への支援、カメムシ類などの広域・一体的な防除体制の確立と防除支援などを要望。また、JA南彩は独自で管内の市町に訪問し、同様の要望書を提出しました。

菊池組合長は「天候による被害、カメムシ被害は、来年以降も続く可能性が高く、農業経営を継続できるための対策が求められています。迅速な支援と情報提供をお願いします」と行政に強く要望しました。



横塚正一農林部長に要望書を手渡す5 JAの組合長

イベントが開催されました



岩槻

11月3日 (撮影日) コスモスの散歩路



11月16・17日 さいたま市農業祭



蓮田

11月17日 蓮田黒浜そばまつり



宮代

10月27日 第35回みやしろ産業祭

秋の収穫を祝うイベントが各地区で開催され、多くの来場者で賑わいました。

生産者が丹精込めて作った野菜や果物、花卉などの販売が行われたほか、さまざまな模擬店も出店し、イベントは大盛況となりました。



春日部

春日部市農業祭

11月23日 第49回春日部市農業祭



白岡

11月23日 第2回しらおか秋の彩りフェスタ



ふれあい感謝祭

11月10日 菖蒲地区ふれあい感謝祭

マグロ解体ショー (菖蒲グリーンセンター)



菖蒲

11月3日 久喜市菖蒲産業祭



埼玉県 家の光大会 3部門で表彰

12月2日、むさしの村（加須市）で、JA埼玉県中央会主催「埼玉県 家の光大会」が開催されました。県内各JA役職員や女性部員ら130名が出席しました。

JA南彩は①「ちゃぐりん」8月号特別普及運動増部②「家の光」12・1月号特別普及運動③「地上」累計増部の3部門で表彰されました。「地上」4月号と6月号でJA南彩青年部が表紙と特集記事を飾ったことで、問合せが多くあり、増部につながりました。

体験発表では、JAあさか野女性部が「女性部と歩む防災」、JAちちぶ女性部が「女性加工部の10年…仲間とともに」と題し発表しました。



表彰を受ける菊池組合長

たくさんの思い出をありがとう

11月23日、JAアグリホールくきで、JA全農さいたま主催「人形・ぬいぐるみ供養祭」が行われました。1,021体の人形・ぬいぐるみをお預かりし、曹洞宗幸福寺（河原井）住職の読経により供養していただきました。来場者の方も多く参列し、思い出深い人形との最後の別れを惜しんでいました。



無事にご供養されました

今年も芽が出る縁起物！岩槻くわい共販組合初出荷

12月12日、岩槻農産物共販センターで、岩槻くわい共販組合の生産者2名による、くわいの初出荷が行われました。

猛暑による生育の遅れ、収量の低下が懸念されましたが、生産者による丁寧な病害虫防除により、小玉ではあるものの、高品質な仕上がりとなりました。

同組合西川清組合長は「実際に掘ってみなければ分からないので、今年はどうかと心配しましたが、高品質なくわいが出荷できました。残留農薬の検査をしているので安全・安心な品質への取り組みや、自信とこだわりをもっています。生産農家は減少の一途をたどっていますが、伝統を守り後世に繋いでいきたいです」と話していました。



くわいを確認する生産者

女性部

11月10日 久喜支部・菖蒲支部
菖蒲地区ふれあい感謝祭



11月19日 全支部
女性部親睦日帰り旅行



12月3日 岩槻支部
料理教室



重点施策（主な取組み）	令和6年度の目標	令和6年度上半期の取組実績
⑧Web受発注システムの導入 ・インターネット注文方式の対応による組合員の利便性向上	●組合員からの受注およびTAC等のモバイル機能受注による効率化 ・インターネット注文開始と取扱い組合員の拡大	●組合員からの受注およびTAC等のモバイル機能受注による効率化 ・県内モデルJAでインターネット注文システムが稼働しているため、その状況を検証しながらJA南彩での導入をめざします
⑨直売所の集客（リピート）率向上への取組み ・来店客数目標 岩槻農産物直売所 年間122,000人 久喜農産物直売所 年間142,000人 菖蒲グリーンセンター 年間524,000人	●特典付き専用カゴの利用者拡大及びタイムセール等の充実 ・来店客数目標 岩槻農産物直売所 年間122,000人 久喜農産物直売所 年間142,000人 菖蒲グリーンセンター 年間524,000人	●曜日セール及び定期的にイベントを実施 ・来店客数（9月末） 岩槻農産物直売所 61,926人 久喜農産物直売所 63,074人 菖蒲グリーンセンター 258,822人

●「地域の活性化」への貢献

重点施策（主な取組み）	令和6年度の目標	令和6年度上半期の取組実績
①准組合員直売所モニター制度の確立 ・モニターを募集して意見交換会やアンケートの実施	●意見交換会の開催 ●アンケートの実施 意見交換会でいただいたご意見を積極的に直売所運営、当組合の事業運営に反映します	●モニターの募集 申込人数13人 第1回10/25、第2回11/21、 第3回R.7.1月下旬予定 全3回
②認知症施策に対するJAの支援体制の構築 ・認知症サポーター養成講座、ミニデイサービス、健康教室の開催（女性部と連携し、3年間で全支部実施）	●認知症サポーター養成講座の開催 ●ミニデイサービスの開催 ●健康教室の開催 ・各項目を7支部中2支部実施（3か年計7支部）	●認知症サポーター養成講座の開催 ●健康教室の開催 ・女性部 宮代支部、春日部支部
③組合員のデジタル技術向上に向けた支援 ・JAスマートフォン教室等の開催	●JAスマートフォン教室等の開催 ・取組件数3団体（3か年計3団体）	●JAスマートフォン教室等の開催 ・取組みに向けて日程調整中1団体

●地域密着型サービスの展開

重点施策（主な取組み）	令和6年度の目標	令和6年度上半期の取組実績
①農業領域への取組み ・農業融資新規実行額 ・農業融資残高 ・農業向け資産形成・運用セミナーの開催	●農業融資体制の構築・強化 ●貸出強化プランの実践 ●営農経済事業部門と連携し、相談機能の充実 ●農業者向け資産形成・運用セミナーの開催 ・農業融資担当者を融資課へ配置 ・農業融資新規実行額240百万円 ・農業融資残高643百万円 ・各管内でセミナーの開催	●TAC定例会議に参加し農業融資研修会を実施 ●農機展示会に参加し農業融資のPRを実施 ●TACに各管内の融資拡充強化検討会議に参加してもらい、情報共有を行っている ・農業融資担当者を融資課へ配置 ・農業融資新規実行額117百万円 ・農業融資残高592百万円 ・生産部会等への資産形成・運用セミナーを3回実施
②生活資金ニーズへの対応 ・住宅ローン新規実行額 ・Web広告効果	●住宅ローン提携先との連携強化で住宅ローンの伸長 ●JAネットローンの取組強化 ●Web広告の実施 ●提携住宅業者との連携施策の実施 ・住宅ローン新規実行額3,200百万円 ・Web広告を実施（マイカーローンを予定）	●住宅ローン提携先と引き続き連携強化 ●融資稟議・電子契約サブシステムを9月より導入 ●Web広告は下期に実施予定 ●提携住宅業者との連携施策は下期に実施予定 ・住宅ローン新規実行額1,248百万円 ・マイカーローンのWeb広告は下期に実施予定
③資産形成・運用ニーズへの対応 ・投信契約残高等	●LPCを活用した提案活動の実施 ●推奨資格の積極的な取得を促し人材育成 ●セミナーの開催 ・投信残高1,600百万円 ・NISA口座獲得件数485件 ・iDeCo獲得件数10件	●LPCによる提案活動を実践 ●AFP・CFP養成研修の案内 ●年金相談員養成講座等、LPCの総合的なスキルアップにつながる研修の案内 ●資産形成・運用セミナーを3回実施 ・投資信託残高1,362百万円 ・NISA口座獲得件数124件 ・上期iDeCo獲得1件
④資産相談機能の提供 ・相談会実施	●専門家を活用した相続相談会・相続セミナーの開催 ・各管内で年1回開催	●相続相談会は下期の土曜日相談会にて開催予定 ・土曜日相談会にて開催予定
⑤全契約者・組合員に寄り添う活動の実践 ・ライフプランにあわせた細やかなニーズ喚起と安心・満足の提供	●全契約者、組合員への3Q活動の実践 ・3Q訪問（オンライン面談含む）による近況確認・あしんチェック、3Qコール（電話による近況確認）活動実施率100%	●3Q訪問・3Qコールによる組合員・利用者の近況確認の実施 ・3Q活動実施数10,094件、実施率30.5%（うち3Qコール145件） ・安心チェック実施数9,894件、実施率29.9%

JA南彩自己改革 令和6年度上半期の取組み結果について

JA南彩ではこれまで取組んできた自己改革を継続しながら、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域共生社会の実現を目指して「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標に取り組んでいるところです。

自己改革の取組みを着実に実行させるため自己改革進捗状況を策定しましたので、令和6年度上半期の進捗状況をご報告いたします。

JA南彩中期3か年計画にかかるアクションプラン

長期 ビジョン (経営戦略)	○地域農業戦略の見直し・実践により農業所得の向上につとめます。
	○組合員・地域住民の暮らしを守るため、総合力を発揮して各種事業活動を通じて総合的な支援を行います。
	○総合事業性を発揮するため、JA経営健全性の確立につとめます。

●農業者の所得増大・農業生産の拡大への挑戦

重点施策（主な取組み）	令和6年度の目標	令和6年度上半期の取組実績
①担い手資金支援 JA南彩独自の助成事業（JA南彩農業振興支援事業 農業振興目的積立金7,500万円） ・新規就農者支援事業 ・園芸栽培振興支援事業 ・労働力軽減効率化支援事業 (助成金額600万円×3か年=1,800万円)	●新規就農者支援事業 ●園芸栽培振興支援事業 ●労働力軽減効率化支援事業 ・助成金総額600万円 (3か年計1,800万円)	●新規就農者支援事業 ●労働力軽減効率化支援事業 ●担い手要望支援事業 ・助成金総額520万円
②担い手経営体への労働力確保対策 (無料職業紹介事業) ・無料職業紹介所・JA南彩あぐりサポート ・梨栽培サポーター・JAグループさいたま求人広告サービス「農業ジョブ」・援農ボランティアの活用 ・JA南彩あぐりサポート 求人登録36件・求職登録39人	●求人・求職者募集 ●求人掲載申込募集 ●援農ボランティアの紹介 ・JA南彩あぐりサポート 求人登録36件 求職登録39人 採用33人(累計) ・JAグループさいたま求人広告サービス「農業ジョブ」	●求人・求職者募集 ●求人掲載申込募集 ●援農ボランティアの紹介 ・JA南彩あぐりサポート 求人登録49件 求職登録54人 採用5人 ・JAグループさいたま求人広告「農業ジョブ」 求人登録18件 求職登録46人 採用15人
③生産者の所得増大に向けた販売強化 業務用米92ha、飼料用米等350ha かぼちゃ栽培100a、青パパイヤ栽培1,700本、カラフル人参栽培75a、アスパラガス栽培50a	●新規作物提案・作付拡大 業務用米92.6ha、飼料用米等350ha かぼちゃ栽培100a、青パパイヤ栽培1,700本、カラフル人参栽培75a、アスパラガス栽培50a	●新規作物提案・作付拡大 業務用米85ha、飼料用米等273ha かぼちゃ栽培85a、アスパラガス栽培39a 青パパイヤ栽培1,480本、極早生ブロッコリー50a
④担い手確保対策（新規就農者支援） ・新規就農者支援	●県農林振興センターや行政と連携し、就農支援パッケージの策定および支援体制を整備 ・新規就農者支援9件（3か年計27件）	●県農林振興センターや行政と連携し、就農支援パッケージの策定および支援体制を整備 ・新規就農者支援2件
⑤農業経営支援による所得増大の支援 ・農業経営管理支援事業（青色申告の記帳代行）に取組みます	●青色申告支援、記帳代行の導入・支援の取組み ・青色申告の記帳代行導入	●青色申告支援、記帳代行導入に向けた取組み ・業者との打合せ、ソフトの選定
⑥農業用ドローンによる労働力支援および生産拡大 ・農業用ドローンによる組合員の農作業の省力化や生産性の向上をはかる	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施 ・麦防除 40ha ・水稲除草 40ha ・水稲防除 40ha 合計120ha	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施 ・麦防除 79ha ・その他 1ha ・水稲除草 49ha ・水稲防除 310ha ・水稲追肥 28ha 合計467ha
⑦銘柄集約肥料等（高度化成肥料やPB肥料）の取扱拡大によるコスト低減 ・PB 10銘柄 27,600袋の取扱い ・高度化成 4銘柄 21,000袋の取扱い	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大 ・PB 10銘柄 27,600袋の取扱い ・高度化成 4銘柄 21,000袋の取扱い	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大 【9月末】 ・PB 10銘柄 10,619袋の取扱い ・高度化成 4銘柄 5,052袋の取扱い

彩農あい!

みんなの広場

こやの たかみつ
小谷野 隆光さん

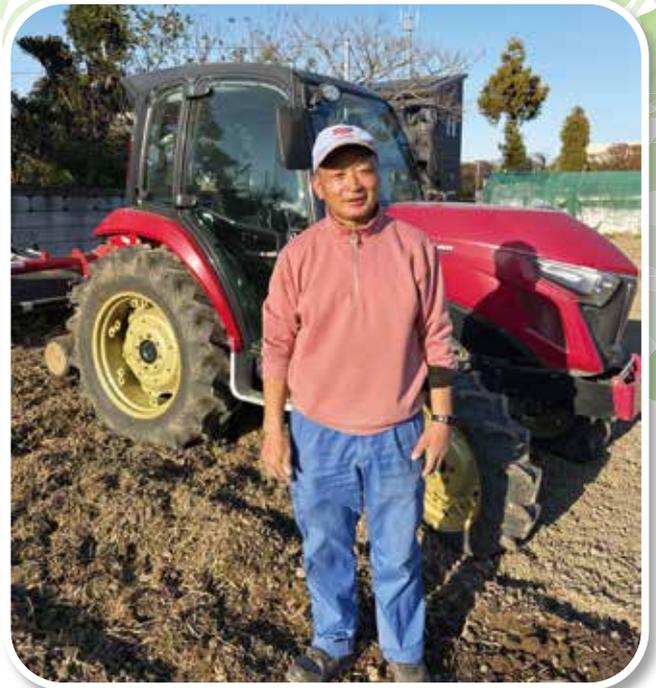
(春日部市南中曽根)

実家が米農家で小さいころから手伝いをしていた小谷野さんは、長男として家業を継ごうと決意していたそうです。

8年前から家業を継ぎ兼業農家として米を栽培しており、昨年からは麦を作り始めました。当初は1.5haだった圃場を、3年前から12haまで拡大したのですが、会社勤めをしながらの農作業は大変で、ここ数年は苦勞の連続だったそうです。家族の協力や、親しい農家の方にサポートをしてもらいながら、手探りで農作業を行っている小谷野さん。農業が軌道に乗るように家族と一緒に前向きに頑張っ、生計を立てられるようにしていくことが夢だそうです。

昨年はカメムシの被害に悩まされ、たいへんな思いをしたそうですが「農業を通じて人と繋がっていくことがとてもうれしい」と話してくださいました。

(木村通信員)



締切迫る! あなたのベストショットお待ちしています!

【令和6年度 JA南彩 フォトコンテスト】

JA南彩では、農業や農産物、自然など地域の魅力を再発見するためにフォトコンテストを開催しています。ぜひ、皆さまの視点で捉えた地域の魅力を写真に収めて、ご応募ください! 優秀作品は、広報誌「なんさい」やホームページ、SNS等に掲載させていただきます!

テーマ 「四季と人々の営み」

農作業の様子や、四季折々の田んぼや畑果樹園などの美しい風景
お祭り(祭事) など人が集う季節感のある風景

審査

令和7年3月にJA南彩役員、JAグループ関係機関にて審査します。

各賞

最優秀賞 1点 商品券20,000円
優秀賞 2点 商品券10,000円
特別賞(組合長賞) 1点 商品券 5,000円+ JA南彩PB商品

※審査の結果、受賞作品数が賞の点数に満たない場合もあります。

発表

令和7年度内、広報誌「なんさい」誌面、ホームページにて発表します。



【応募期間】令和6年8月1日(木)～令和7年1月31日(金)

【応募資格】JA南彩管内(さいたま市岩槻区、春日部市(旧庄和町地区を除く)、久喜市(旧栗橋町、旧鷲宮町地区を除く)、蓮田市、宮代町、白岡市)に在住の方

応募方法

- ・プリント画像による応募
下記必要事項を明記した応募用紙を下記住所へ郵送、または各支店窓口にお渡しください。
※1 応募用紙についてはホームページからダウンロードしてください。
- ・Eメールによる応募
画像データを添付し(※2)、下記必要事項をメール本文に明記し、下記のEメールへお送りください。
※2 メール受信データ容量に制限があるため、合計サイズが10MBを超える場合は、数回に分けてお送りいただけるようお願いします。

必要事項

- ①郵便番号 ②住所 ③氏名(フリガナ)
- ④電話番号 ⑤タイトル ⑥撮影年月日
- ⑦撮影場所 ⑧作品について一言コメント

【応募・お問い合わせ先】

〒344-0064 春日部市南2-4-30
JA南彩 企画管理部 ふれあい広報課 TEL 048-720-8050
Eメール nansaiphoto@nansai.st-ja.or.jp



▲応募専用フォーム



▲作品規定や応募規定はコチラ

いちごの季節が
やってきた

ペにたまと旬のいちごたち

“ペにたま”はどんないちご？

名前の由来

「ペにたま」は2018年に開発された埼玉県産のオリジナル品種です。県民やいちご生産者から名前を募集し、果実全体が赤いことから「紅」、埼玉や丸い果実のイメージから「玉」の2文字をあわせて「ペにたま」と、埼玉のいちごらしい名前が選ばれました。



おいしさの特徴

「ペにたま」は、大粒で糖度が高く、酸味が少ないため、食べた瞬間に、濃厚な甘さが口いっぱいに広がります。果実はルビーのように赤く、きれいな形をしています。

いちごの品種紹介

とちおとめ

特徴

香りが高い
果肉がしっかりしてジューシー
糖度は高く程よい酸味
鮮やかな赤色

収穫時期 11月下旬～



やよいひめ

特徴

大粒で果肉がしっかりとれているため日持ちが良い
糖度は高く酸味はまるやか
明るい赤色
熟してもそれほど濃くならない

収穫時期 12月～



あまりん

特徴

比較的大粒
果肉しっかり
甘味が強く酸味はおだやか
鮮やかな赤色

収穫時期 12月～



かおりん

特徴

やや小さめ
果肉しっかり
香りがよく甘味・酸味ともに濃厚
鮮やかな赤色

収穫時期 12月後半～



いちごの豆知識

おいしいいちごの選び方

- ▶ヘタの近くまでムラなく赤い
- ▶ハリとツヤがある
- ▶つぶつぶが程よく赤い
- ▶ヘタの緑が濃く、反り返っているもの
→ヘタが元気なものほど、新鮮な証拠!!

**いちごは鮮度が命です！
早めにお召し上がりください**

保存方法

- 【そのまま食べる場合】**
- ▶購入後はすぐに冷蔵庫へ
- ▶水洗いする場合は、水分をよく拭き取ってから保存
- 【冷凍保存する場合】**
- ▶洗って、水分をよくふき取ってジップロック等に入れて冷凍保存
→ジャムやスムージーにすぐ使えます

- ペにたま・あまりん・やよいひめは、菖蒲グリーンセンターで購入することができます。
- ペにたま・あまりん・かおりん・やよいひめ・とちおとめは、いちご狩り(菖蒲グリーンセンター)で食べられます。

いちご狩り

内容は予告なく変更することがございます。

期間 1月7日(火)～5月中旬 **受付時間** 平日・土日祝 9:30～15:00

料金	菖蒲グリーンセンター 制限時間45分	1月7日～ 3月23日 まで	3月24日～ 4月6日 まで	4月7日～ 5月6日 まで	5月7日～ 閉園まで	いちご農家 制限時間30分	1月7日～ 3月23日 まで	3月24日～ 4月6日 まで	4月7日～ 5月6日 まで	5月7日～ 閉園まで
	中学生～大人	2,800円	2,500円	2,000円	1,200円	小学生以上	2,300円	2,000円	1,600円	1,200円
小学生・65歳以上 (要証明書)	2,500円	2,200円	1,800円	1,200円	幼児(3歳～未就学)	1,500円	1,400円	1,200円	800円	
幼児(3歳～未就学)	2,000円	1,800円	1,400円	800円						

2歳以下(3歳未満)は無料

※いちごがなくなり次第終了となりますので、予めご了承ください。※いちごの生育状況により食べられない品種がございます。

お問合せ先 **菖蒲グリーンセンター** TEL 0480-85-4444 9:00～17:00

2月の作業

生育期の雑草防除

麦の播種後に発生してきた雑草を除草剤により一旦枯殺しても、畑土中の雑草種子が出芽してきます。その場合には、再度除草剤を散布します。

麦踏み

過繁茂^{かはんも}を防ぐために、1月の麦踏みよりも強めにします。



- ◆ しっかりした根張りを確保し、無効茎を淘汰し、強い有効茎を確保します。
- ◆ ビール麦や六条大麦は茎立ち前の2月中旬までに麦踏みを終了させます。

※過繁茂とは、植物が過剰に茂りすぎる状態

麦類の追肥

安定した生産量の確保と、品質確保には追肥が必要です。



- ◆ ビール麦のタンパク目標値は10.0~11.0%です。
- ◆ 暖冬で雨の多い年には肥切れが早くなるので、必ず早めに実施します。
- ◆ 次の表の施肥量を参考にしてください。

品種名	参考施肥窒素量(kg/10a)	※高度化成の施用例(kg/10a)	追肥時期の目安
彩の星	前年産のタンパクが適正範囲の場合 1.0~1.5	7~10	2月/上
	前年産のタンパクが低かった場合 2.0	15	2月/下
ニューサチホ ゴールデン	前年産のタンパクが適正範囲の場合 1.0~1.5	7~10	2月/上
	前年産のタンパクが低かった場合 2.0	15	2月/下
すずかぜ	2.0	15	2月/中・下

※高度化成：チッソ14-リン酸14-カリウム14

3月の作業

麦類の追肥

小麦の追肥は茎立ち前の3月上中旬が適期です。高い評価を得るために必ず実施します。



- ◆ 「さとのそら」では茎立ちまでに実施できなかった場合には、出穂2週間前（3月/下頃）に窒素成分で10a当り2kgを施肥します。
- ◆ 「ハナマンテン」では茎立ち前と穂揃期の2回追肥で高たんぱくを実現しましょう。

品種名	施肥窒素量 (kg/10a)	けやきハイパワー MAX (15 (うち4.5%石灰窒素) -3-6) (kg/10a)
さとのそら	3.0~4.0	20~27
あやひかり	2.0	13
ハナマンテン	2.0(1回目)+2.0~4.0(2回目)	13(1回目)+13~27(2回目)

麦踏み

最後の麦踏みは強めに行います。麦踏みで崩れた畦畔や排水溝は早めに修復しましょう。



- ◆ 伸びすぎを抑え、倒伏しにくい麦にします。
 - ◆ 遅発茎の発生を抑え、強い有効茎を育てます。
 - ◆ 暖冬の場合は茎立ちは従来より早まっています。3月中旬までに完了しましょう。
- 特に、カラスムギやネズミムギは小麦や大麦の近縁種であるため、麦畑に侵入・繁殖すると麦用の除草剤での防除が難しくなってしまうため、種子がこぼれる前に抜き取って畑の外で処分してください。



1月以降の麦圃場の栽培管理と防除対策

麦の品質・収量を確保するためには、適切な栽培管理が重要となります。麦栽培における中期（1月～3月）の管理時期の生育は、分けつ期～幼穂形成期にあたります。

この時期の管理は「麦踏み」、「生育期の雑草防除」、「追肥」が大事な作業となりますので、これらの作業について説明します。

1月の作業

麦踏み

麦の3葉目が展開したら、しっかりと麦踏みを行います。その後、10日以上の間隔を空けて月内に2回行いましょう。



- ◆ 麦踏みにより、下位節からの分けつ発生を促し、莖数を増加させます。
- ◆ 有効莖を増やし、根をしっかりと育てます。
- ◆ 寒さや、乾燥による株の浮き上がりを防止できます。

生育期の雑草防除

雑草が多発すると肥料分を雑草に吸収され、雑草の繁茂による生育阻害が起こります。

麦畑に発生して問題になる雑草には、次のような種類があります。

- ◆ 一年生イネ科雑草：カラスムギ、ネズミムギ、スズメノテッポウ
- ◆ 一年生広葉雑草：カラスノエンドウ、ヤエムグラ、ヤグルマギク



カラスムギ ネズミムギ スズメノテッポウ カラスノエンドウ ヤエムグラ ヤグルマギク

- 播種後に土壌処理した除草剤の効果持続期間は、暖冬で適度な湿り気があると短くなります。
- 逆に、天候が低温・乾燥気味に推移すると、播種後に散布した土壌処理除草剤の見かけの効果持続期間が長くなります。
- 特に、カラスムギやネズミムギは小麦や大麦の近縁種であるので、麦畑に侵入・繁殖すると麦用の除草剤での防除は容易ではありません。
- 畑地内に広葉雑草の発生が見られたら、遅れないように除草剤を散布してください。

薬剤名 (本剤の使用回数)	麦類	使用時期	主な対象雑草
バサグラン液剤 (1回以内)	小麦	生育期、但し収穫45日前まで	一年生雑草 (イネ科を除く)
	麦類 (小麦を除く)	生育期、但し収穫90日前まで	
エコパートフロアブル (2回以内)	小麦 (秋播)	小麦節間伸長開始期まで(広葉雑草2～4葉期、ヤエムグラ2～6節期)但し、収穫45日前まで	一年生広葉雑草 広葉・ヤエムグラ
	大麦	大麦節間伸長開始期まで(広葉雑草2～4葉期)但し、収穫45日前まで	

ハゴロモ虫について

岩槻地区 (南部エリア) 担当の小川です。今回はカメムシ目に属する「ハゴロモ」についてお話しします。皆さん、この虫を見たことがありますか？昨年多くの方から「見かけたことはあるけど、名前がわからない」という声をいただきました。

そもそもなぜハゴロモという名前なのか？名前の由来には諸説ありますが、幼虫の姿が天女の羽衣に似ていることからこの名がつけられたと言われています。日本では、アオバハゴロモやベッコウハゴロモなど、さまざまな種類のハゴロモが見られますが、昨年多く発生が見られたのがチュウゴクアミガサハゴロモです。チュウゴクアミガサハゴロモの成虫は、大きさ14mm~16mmで茶褐色から鉄さび色をしています。羽の横に白い三角形のような模様があり、幼虫・成虫ともに枝を吸汁するのが特徴です。この虫は、ナシやブルーベリー、カキ、カンキツ、宿根アスターなどに寄生し枝に産卵します。産卵は規則正しく配列され、枝の組織を損傷して植物を衰弱させる可能性があります。枝に産卵された部分は、白色で毛状の口吻物質で覆われているため容易に確認できます。さらに成虫や幼虫の数が多いと、排泄物によって「すす病」が発生されることも懸念されます。

令和6年10月現在、チュウゴクアミガサハゴロモに対する登録農薬はありません。もし見つけた場合は枝を切り、深く土に埋めるか、焼却処理をお願いします。



ハゴロモ



産卵後

ご不明な点がございましたら、営農経済センターまたはTACまでご相談ください。

JAグループさいたま アグリマシンプアー

第63回農業機械大展示会

日時 令和7年 1月31日(金) 9:00~15:00

2月1日(土) 9:00~14:00

会場 **むさしの村 特設会場**

出展内容

- 水田、畑用、園芸用各種農業機械
- 中古農業機械コーナー

お問い合わせ

お近くのJA 又は JA全農さいたま農機課

TEL 048-559-0315

住所 埼玉県加須市志多見1700-1

TEL 0480-61-4126(代)

灯油の配達 承ります

灯油のご注文は JA南彩 燃料配送センターをご利用ください。

◆配達予定日

久喜市 (旧鷲宮、旧栗橋地区を除く)	月・水・金
さいたま市岩槻区、春日部市 (旧庄和町地区を除く)、蓮田市、宮代町、白岡市	火・木・土

※混雑時は変動する場合があります。
※料金体系やお支払方法など、お気軽にお問い合わせください。

<営業日>月~土 <休業日>日・祝日
<営業時間>8:45~17:00
緊急の場合はご相談ください。

お問い合わせ・ご用命等は…

JA南彩 燃料配送センター

TEL 0480-23-0471

.....JA南彩 総合ポイントシステム.....

終了のお知らせ

平素より、JA事業をご利用いただきありがとうございます。

この度、2013年より開始いたしました「JA南彩 総合ポイントシステム」を誠に勝手ながら以下のとおり終了させていただくこととなりました。今までご利用いただいた皆さまには心よりお礼申し上げます。今後もよりよいサービスを検討してまいりますので、変わらぬご愛顧をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

総合ポイントシステム終了に伴う今後の対応について

新規ポイントカードの発行終了日	2025年3月31日(月)
三菱UFJニコス(株)とのポイント相互交換終了日	2025年6月30日(月) 7月以降はポイントの移行ができなくなります。 ※ポイント機能付きJAカード(クレジットカード)をご利用の方のみ対象。
ポイント付与終了日	2025年9月30日(火) ※直売所利用以外のポイント付与(定期性貯金、年金振込、給与振込、各種ローン、支店・センターでのお買い物等)については、 2025年8月31日(日) までが対象となります。
ポイントキャッシュバック日	2025年9月末のポイント残高(500pt毎)を 2025年10月10日(金) に登録口座に入金します。 ※ポイント自動キャッシュバックをご登録の方のみ対象。 ※登録口座を解約された場合は、キャッシュバックされません。 ※三菱UFJニコス(株)からにじいろポイントへの交換分は、キャッシュバック対象外です。
ポイント利用終了日	2026年3月31日(火) 1ポイント1円としてご利用いただけます。なお、期限超過後の残ポイントについては、失効とさせていただきますので期限内のご利用をお願いします。

ポイントカードのお取り扱いについて

①ポイントカード



◎サービス終了後破棄願います

②ポイントJAカード (クレジットカード機能付)



◎そのまま継続してご使用いただけます

③ポイントJAカード (クレジットカード・キャッシュカード機能付)



お問合せ JA南彩 企画管理部総務課 TEL 048-720-8051

相談会のご案内

JAでは相談会を開催しています。お気軽にご利用ください。

営農相談

毎月直売所で病害虫防除、雑草防除の営農相談コーナーを開設しております。

2月12日(水)
岩槻農産物直売所
(あさつゆの里)
9:30~11:00
048-798-8311

2月19日(水)
久喜農産物直売所
(久喜キラリ直売館)
9:30~11:00
0480-25-1183

2月26日(水)
菖蒲グリーンセンター
9:30~11:00
0480-85-4444

税務相談会

税務相談会は事前予約制となっておりますので、それぞれの開催日**1週間前**までにお電話でのご予約をお願いいたします(ご予約いただけない場合は受付できません)。ご予約がない場合は開催中止となりますのでご注意ください。

2月6日(木)	2月6日(木)	2月13日(木)	2月5日(水)	2月18日(火)	2月18日(火)	2月5日(水)
3月6日(木)	3月6日(木)	3月25日(火)	3月5日(水)	3月25日(火)	3月25日(火)	3月5日(水)
岩槻城南支店	春日部支店	蓮田支店	宮代支店	白岡大山支店	久喜江面支店	菖蒲南支店
9:30~12:00	10:00~15:00	9:30~12:00	9:30~12:00	13:30~15:30	9:30~12:00	13:30~15:30
048-798-3345	048-736-5501	048-768-2190	0480-32-0102	0480-92-2315	0480-21-1101	0480-85-1022

※都合により時間に変更になる場合があります。

みなさん、ご存知ですか?

JAとの取引条件を満たして**ポイントup!**
コンビニATM(セブン銀行、ローソン銀行、イーネット)の
手数料を無料にできます。



本プログラムの対象となる方は、JAのお取引に応じてコンビニATM(※1)での入出金手数料がひと月に最大5回無料(※2)になります。JAとお取引のある個人の方すべてが対象となりますので、引き続きさまざまなライフプランやニーズに合わせてJAバンクをご利用下さい。



※1...セブン銀行、ローソン銀行、イーネット
※2...ステージ2の方は月3回、ステージ3の方は月5回無料になります。
※申込みは不要です。 ※優遇対象口座は当座一般、普通(一般、総合、営農)に限ります。

年金振込	3	ポイント
正組員資格	2	ポイント
准組員資格・正組員の同居家族	2	ポイント
給与振込(月額5万円以上)	2	ポイント
通帳レス(当座性貯金をきんで1口座以上が通帳レスとなっていること)	1	ポイント
個人IB(インターネットバンキング)	1	ポイント

ステージ**2**以上のお客様が優遇対象です

セブン銀行
ローソン銀行
イーネット

ATM入出金
最大 1か月**5**回まで
手数料無料

入出金手数料のご案内

優遇の対象取引・判定期間等・優遇資格のくわしい内容については、お取引JAの窓口または「JAバンク埼玉優遇プログラム規定」によりご確認ください。

金融機関	JAバンク	セブン銀行	ローソン銀行	イーネット
平日 8:45~18:00	0円	110円	110円	110円
土曜日 9:00~14:00	0円	110円	110円	110円
平日、土曜日のその他の時間帯 および日曜日、祝日	0円	220円	220円	220円

※お客様が、優遇ステージ2以上に該当し、入出金手数料の優遇回数が残っている場合、上記コンビニATMの入出金手数料が無料となります。



【自身のステージ確認方法】

- JAネットバンクにログインいただくことで確認いただけます。
- お取引のあるJAの窓口でお申し付けいただくことも確認いただけます。
- コンビニATM(セブン銀行・ローソン銀行・イーネット)での入出金取引後に出力される明細書でも確認いただけます。

南彩インフォメーション

information

1	2			8				
6						7		
					3	2	9	
			3			4		
8								6
		2			9			
	4	7	6					
		3						9
				2			7	1

二重枠に入った数字の合計はいくつ？

ルール

- ① 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- ② タテ列（9列）、ヨコ列（9列）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つ）のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

応募方法

正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼント。

【締切日】 1月末日 発表は3月号です。

11月号の答え

答え **10**

当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

4	8	5	9	2	7	1	3	6
7	2	6	8	1	3	4	5	9
3	9	1	4	5	6	7	2	8
9	3	8	1	7	2	6	4	5
5	1	7	6	9	4	2	8	3
6	4	2	3	8	5	9	1	7
1	7	4	5	3	9	8	6	2
8	5	9	2	6	1	3	7	4
2	6	3	7	4	8	5	9	1

11月号応募総数65通

85 〒344-0064

J A 南彩

ふれあい広報課

春日部市南
二丁目4番30号

● 郵便番号・住所
● 氏名・年齢
● J A 南彩と本誌への
ご意見・ご希望・短歌・
イラストなど

※応募ハガキに基づく個人情報は抽選、景品の発送、意見等の掲載に使用させていただきます。あらかじめご了承ください。
※お一人さま1枚までのご応募とさせていただきます。

【理事会だより】

令和6年11月27日、定例理事会が行われ、次の事項について審議され、全議案原案通り可決、承認されました。

- (1) 令和6年10月末財務状況について
- (2) 職制規程の一部変更について(機構図)
- (3) 令和6年度上半期監事監査の指摘事項に対する改善状況について
- (4) 令和6年度上半期ディスクロージャー誌の発行について
- (5) 個人情報保護法関連規程類の一部変更について
- (6) 年末賞与の支給について



主要事業の概要

— 令和6年11月末現在 —

出資金につきましては、28億8,850万円です。

	令和6年11月末	令和6年3月末	前年度末増減
正組合員数	9,078人	9,066人	12人
准組合員数	19,314人	19,044人	270人
組合員数合計	28,392人	28,110人	282人

	令和6年11月末	令和5年11月末	前年度同月対比
貯金高	2,765億4,671万円	2,778億5,865万円	99.5%
貸出金	704億1,398万円	686億9,896万円	102.4%
共済保有高	5,880億6,286万円	5,960億6,339万円	98.6%
販売高	20億7,360万円	20億6,955万円	100.1%
購買品Ⅰ供給高	16億8,805万円	14億4,378万円	116.9%
購買品Ⅱ供給高(各直売所)	8億9,469万円	8億2,362万円	108.6%

※ 貸出金については、貸付留保金を控除しています。

編集後記

ふれあい広報課の裏話

広報誌「なんさい」は、ふれあい広報課で作成していますが、色々な部署と連携して記事が集まって来ます。ふれあい広報課では、記事の配置やそれぞれの部署とやり取りを行い、修正やチェックも行っております。広報編集委員という部隊もいて、チェックが二重・三重と入っています。

皆さまに楽しんでいただけるような誌面づくりと毎年行われる広報誌コンクールでの上位入賞にむけて今年もがんばります。 編集担当 N

集まれ!

「第2期新規いちご栽培塾」

受講生募集!

JA南彩管内の特産である苺生産をさらに発展させるために、新たに苺栽培を志す方及び苺栽培を学びたい方を対象に、実技を中心とした講習を行います。

開催時間

14:00~16:00

開催場所

久喜市菖蒲町小林地区の苺園(土耕)及び菖蒲グリーンセンター養液ハウス(水耕)

対象者

JA南彩管内に在住の組合員または准組合員(准組合員に加入する意思のある方)で、新たに苺栽培を志す方、または栽培を学びたい、または興味のある方

申込み方法

希望受講者の氏名、住所、電話番号、農業経験の有無(有の場合は作物名や面積)、希望の動機を記入し、「新規いちご栽培塾希望」と明記して、下記あてに「ハガキ」又は「FAX」でお気軽に申込みください。

送付先

【ハガキ申込み先】

〒344-0064 春日部市南2丁目4番30号
JA南彩 営農部 営農支援課
「新規いちご栽培塾」担当宛

【FAX申込み先】

JA南彩 営農部 営農支援課
FAX 048-720-8095

お問合せ先 JA南彩 営農部 営農支援課 担当 野口 ☎ 048-720-8092

お知らせ

ご葬儀の事前相談・ご連絡は

JA葬祭総合センター

☎ 0120-145-731 (24時間・365日対応)



▲こちらの問合せフォームからメールでの相談も可能です。

番号案内サービス(104)へお問合せの際は、必ずJA南彩の葬儀とおたずねください。

なんさい No. 344

令和7年1月1日発行

発行責任者/南彩農業協同組合
代表理事組合長 菊池義雄
編集/企画管理部ふれあい広報課
〒344-0064 埼玉県春日部市南二丁目4番30号
TEL 048(720)8051 FAX 048(720)8052

VEGETABLE OIL INK

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています



講座開催日

令和7年4月~令和8年3月

(毎月第2週・第4週木曜日)
(講習会は年間23回開催)

人員

15~20名程度(応募多数の場合は調整させていただきます)

受講内容

苺栽培全般(育苗~収穫まで)

応募締め切り日

令和7年2月21日(金)

年間受講費

5,000円